

**授業概要**

卒業研究の準備段階として、実証研究を行うための文献検索の方法や発表スキル、レポート作成を通して実践的な心理学研究法の習得を目指す。具体的には、春期では共通研究課題として「プロジェクト課題」を設定し、そのテーマに関する基礎文献を精読しながら、専門的知識と方法論について学習する。秋期には春期の学習を踏まえて、各自の興味にそった研究課題を設定し、それを受けての学術文献の発表を通して論文中の研究法、分析手法について理解する。さらに、文献の検索や報告を通してリサーチ・スキルを修得する。

**授業計画**

|        |                     |        |                            |
|--------|---------------------|--------|----------------------------|
| 第 1 回  | ガイダンス：本演習の目的と進め方    | 第 16 回 | 前期の学習状況を踏まえて、各自の研究課題を確認する。 |
| 第 2 回  | 各自の関心テーマの確認と文献検索(1) | 第 17 回 | 研究テーマの再検討                  |
| 第 3 回  | 各自の関心テーマの確認と文献検索(2) | 第 18 回 | 研究テーマの再検討                  |
| 第 4 回  | 各自の関心テーマの確認と文献検索(3) | 第 19 回 | 研究テーマの再検討                  |
| 第 5 回  | 研究テーマの発表(1)         | 第 20 回 | 研究テーマの再検討                  |
| 第 6 回  | 研究テーマの発表(2)         | 第 21 回 | 関連文献の講読と討議(4)              |
| 第 7 回  | 研究テーマの発表(3)         | 第 22 回 | 関連文献の講読と討議(5)              |
| 第 8 回  | 研究テーマの発表(4)         | 第 23 回 | 関連文献の講読と討議(6)              |
| 第 9 回  | 基礎文献の講読と討議(1)       | 第 24 回 | 関連文献の講読と討議(7)              |
| 第 10 回 | 基礎文献の講読と討議(2)       | 第 25 回 | 各自の発表資料の作成と討論(1)           |
| 第 11 回 | 基礎文献の講読と討議(3)       | 第 26 回 | 各自の発表資料の作成と討論(2)           |
| 第 12 回 | レポート課題の発表と討議(1)     | 第 27 回 | 各自の発表資料の作成と討論(3)           |
| 第 13 回 | レポート課題の発表と討議(2)     | 第 28 回 | 各自の発表資料の作成と討論(4)           |
| 第 14 回 | レポート課題の発表と討議(3)     | 第 29 回 | 各自の発表資料の作成と討論(5)           |
| 第 15 回 | 前期のまとめ              | 第 30 回 | 研究発表会(1)                   |
|        |                     | 第 31 回 | 研究発表会(2)                   |

**到達目標**

1. その基盤となる能力として、文献講読を通しての論理的理解能力と科学的な批判的思考の習得を目指す。
2. 自身の興味・関心に沿ったテーマについて、自分で研究計画を立案、実施し、その成果のプレゼンテーションを踏まえてレポート論文にまとめ上げることができる。

**履修上の注意**

1. 病気、怪我等の特別な事情がない限り、毎回出席を厳守する。病気等の場合は、診断書の提出を求める。理由なく5回以上の欠席の場合、単位は認定しない。
2. 授業参加と発表状況およびレポートの完成度が基準に満たない場合は再提出、追加課題の実施あるいは再履修を求められる。

**予習・復習**

1. 各自の関心に沿って課題を設定・研究を実施する。
2. 文献の講読、吟味、分析を行い、一定の結論を導き出し、レポートを作成・提出する。そのため、授業以外の自主的学習が必要となる。

**評価方法**

自身の興味・関心に沿ったテーマについて研究計画を立案し、論理的なレポートが作成できること。

**テキスト**

事前に指定する図書はない。課題に応じて参考文献等を紹介する。

**授業概要**

心理学に関心があり、とくに臨床心理学や人間関係の心理に興味があり、その分野で卒業論文を執筆したいと考えている学生を対象として、人間関係や心のケアに関する体験的理解と研究方法を学ぶ。ボランティア活動を奨励します。大学外での様々なボランティア活動をゼミとしても行います。

**授業計画**

|        |                     |        |                  |
|--------|---------------------|--------|------------------|
| 第 1 回  | オリエンテーション（目的と方法）    | 第 16 回 | オリエンテーション        |
| 第 2 回  | 心理学の分野と対象理解         | 第 17 回 | ボランティア体験の発表（1）   |
| 第 3 回  | 各自の研究テーマを考える（1）     | 第 18 回 | 研究テーマについて考える     |
| 第 4 回  | 各自の研究テーマを考える（2）     | 第 19 回 | 研究テーマと研究方法の討議（1） |
| 第 5 回  | 各自の研究テーマに関する文献を収集   | 第 20 回 | 研究テーマと研究方法の討議（2） |
| 第 6 回  | 研究テーマの発表（1）         | 第 21 回 | 研究テーマと研究方法の討議（3） |
| 第 7 回  | 研究テーマの発表（2）         | 第 22 回 | 予備調査の検討（1）       |
| 第 8 回  | 研究テーマの発表（3）         | 第 23 回 | 予備調査委の検討（2）      |
| 第 9 回  | 人間関係の心理学に関する文献購読（1） | 第 24 回 | 研究資料の収集と分析（1）    |
| 第 10 回 | 人間関係の心理学に関する文献購読（2） | 第 25 回 | 研究資料の収集と分析（2）    |
| 第 11 回 | 臨床心理学に関する文献購読（1）    | 第 26 回 | 研究成果の報告（1）       |
| 第 12 回 | 臨床心理学に関する文献購読（2）    | 第 27 回 | 研究成果の報告（2）       |
| 第 13 回 | 研究方法についての検討（1）      | 第 28 回 | 研究発表会に向けた資料作成    |
| 第 14 回 | 研究方法についての検討（2）      | 第 29 回 | 研究発表会            |
| 第 15 回 | 研究計画と方法の発表          | 第 30 回 | 研究発表会を終えて、今後に向けて |
|        |                     | 第 31 回 | 研究レポート提出         |

**到達目標**

卒業研究に向けて準備する。研究テーマの選択、研究方法の検討、文献購読の方法、研究資料の作成、研究計画の作成、データの処理などを体系的に学び、理解する

**履修上の注意**

無断欠席しないこと。遅刻するときは、連絡するなど、発表のときは休まないなどゼミに対してきちんとした態度で臨むこと。

**予習復習**

文献購読、研究発表、事前・事後の学習は大切である。

**評価方法**

平常点（取組み姿勢）、レポートの提出など総合的に評価する

**テキスト**

必要に応じて資料を配布する

**授業概要**

前半は、心理学の論文やレポートを読み、各回で発表者をたて、発表してもらい、議論をする。これにより、実際の研究に触れ、研究の進め方を実感してもらう。もちろん、このことで新しい心理学における新しい知識も吸収する。

後半では、質問紙調査を作成し、調査を実施し、解析をし、結果を出し、レポートの作成（または発表）をすることによって研究の手順を体感してもらう。

これらを行うことによって、卒論作成時に困らなくなることを目指す。

**授業計画**

|        |                         |        |                   |
|--------|-------------------------|--------|-------------------|
| 第 1 回  | ゼミの進め方の説明、発表担当者の決定      | 第 16 回 | 仮説の検討 1（調査対象者の決定） |
| 第 2 回  | 担当教員（古澤）による研究発表発表の仕方の説明 | 第 17 回 | 仮説の検討 2           |
| 第 3 回  | 心理学論文の発表 1              | 第 18 回 | 仮説の検討 3           |
| 第 4 回  | 心理学論文の発表 2              | 第 19 回 | 質問紙の作成 1          |
| 第 5 回  | 心理学論文の発表 3              | 第 20 回 | 質問紙の作成 2          |
| 第 6 回  | 心理学論文の発表 4              | 第 21 回 | 質問紙の作成 3          |
| 第 7 回  | 心理学論文の発表 5              | 第 22 回 | 質問紙のレイアウト決定       |
| 第 8 回  | 心理学論文の発表 6              | 第 23 回 | 質問紙の印刷            |
| 第 9 回  | 心理学論文の発表 7              | 第 24 回 | 調査の実施             |
| 第 10 回 | 心理学論文の発表 8              | 第 25 回 | データ入力、データクリーニング   |
| 第 11 回 | 心理学論文の発表 9              | 第 26 回 | データ解析 1           |
| 第 12 回 | 心理学論文の発表 10             | 第 27 回 | データ解析 2           |
| 第 13 回 | 心理学論文の発表 11             | 第 28 回 | データ解析 3           |
| 第 14 回 | 秋期調査のテーマ決め 1            | 第 29 回 | レポートの作成 1         |
| 第 15 回 | 秋期調査のテーマ決め 2            | 第 30 回 | 結果発表              |

**到達目標**

基礎的な調査であれば、独力でテーマ決定から、レポート作成、発表までの調査のすべての過程を実行できることを目標とする。

**履修上の注意**

原則として、「心理学研究法Ⅰ」「心理学研究法Ⅱ」を履修していることが必要である。これら科目に合格していない場合、ゼミにおける学習も厳しくなる可能性があるため、その点は認識しておいてほしい。

また、「心理学実験Ⅰ・Ⅱ」「フィールドワークⅠ・Ⅱ」「社会調査実習Ⅰ・Ⅱ」のうちどれか1科目は履修をすることがゼミにおける学習上必要となる。

**予習・復習**

論文発表の際、発表者以外も論文に目を通し、内容を確認しておくことが必要である。発表者が作成したレジュメによって復習をすることが望ましい。

**評価方法**

発表の仕方を含む授業の参加性（60%）およびレポート（40%）によって評価を行う。

**テキスト**

特にテキストを指定しない。

**授業概要**

- ・学校教育に関する様々な課題（思春期と異性関係、学習意欲、自分探し、いじめ、不登校、学級崩壊、キャリア教育、教師のメンタルヘルス、子どもとストレス、非行と犯罪など）を、心理だけでなく、教育、福祉の視点も視野に入れ扱います。
- ・定時制高校等の実態を知るためのフィールドワークも検討します。

**授業計画**

|        |               |        |                   |
|--------|---------------|--------|-------------------|
| 第 1 回  | オリエンテーション     | 第 16 回 | オリエンテーション         |
| 第 2 回  | 文献検索の方法について 1 | 第 17 回 | 文献検索の方法について 1     |
| 第 3 回  | 文献検索の方法について 2 | 第 18 回 | 文献検索の方法について 2     |
| 第 4 回  | 文献紹介 1        | 第 19 回 | フィールドワーク 1        |
| 第 5 回  | 文献紹介 2        | 第 20 回 | フィールドワーク 2        |
| 第 6 回  | 関心あるテーマの発表 1  | 第 21 回 | 関心あるテーマの整理 1      |
| 第 7 回  | 関心あるテーマの発表 2  | 第 22 回 | 関心あるテーマの整理 2      |
| 第 8 回  | 各ゼミ生の発表 1     | 第 23 回 | 各ゼミ生の発表 1         |
| 第 9 回  | 各ゼミ生の発表 2     | 第 24 回 | 各ゼミ生の発表 2         |
| 第 10 回 | 各ゼミ生の発表 3     | 第 25 回 | 各ゼミ生の発表 3         |
| 第 11 回 | 各ゼミ生の発表 4     | 第 26 回 | 各ゼミ生の発表 4         |
| 第 12 回 | 各ゼミ生の発表 5     | 第 27 回 | 各ゼミ生の発表 5         |
| 第 13 回 | 各ゼミ生の発表 6     | 第 28 回 | 各ゼミ生の発表 6         |
| 第 14 回 | 発表の振り返りとまとめ 1 | 第 29 回 | まとめと課題を明らかにする作業 1 |
| 第 15 回 | 発表の振り返りとまとめ 2 | 第 30 回 | まとめと課題を明らかにする作業 2 |

**到達目標**

- ・興味・関心のあるテーマの文献、資料を集めることができる。
- ・興味・関心のあるテーマの文献、資料を何度も読み、内容を理解できる。
- ・発表レポートを作成することができる。
- ・仲間の発表にしっかりと耳を傾け、自分の意見を発表することができる。

**履修上の注意**

- ・学科の専門必修科目の他、学校心理学、福祉心理学、学校臨床心理学、などは参考になります。

**予習・復習**

- ・発表準備のための予習・発表後の振り返りは必ずするようにしてください。
- ・仲間の発表に対しても積極的な意見を発表するようにしてください。

**評価方法**

発表レポート(40%)、ディスカッションへの参加度(30%)、毎回提出するミニレポート(30%)などにより、総合的に評価します。

**テキスト**

- ・必要に応じて資料は配布します。
- ・参考書など必要なものは、講義の中で適宜指示します。

**授業概要**

- ・子どもに関わるのがテーマです。特に、教育(いじめ、不登校、学級経営、小1プロブレム、中1ギャップなど)、保育(幼小連携、特別支援、保護者への教育相談など)、福祉(子育て、家庭教育など)。
- ・自分が興味関心のある分野を広げるために、世の中の事象や時事問題についての活字情報を収集する。
- ・教育・保育現場を訪問し、自分の目で子どもを観察し、理解を深める。

**授業計画**

|       |            |      |                  |
|-------|------------|------|------------------|
| 第 1 回 | オリエンテーション  | 第16回 | オリエンテーション        |
| 第 2 回 | 論文・資料の集め方1 | 第17回 | より詳細な論文、資料の集め方1  |
| 第 3 回 | 論文・資料の集め方2 | 第18回 | より詳細な論文、資料の集め方2  |
| 第 4 回 | 論文・資料の集め方3 | 第19回 | フィールドワーク1        |
| 第 5 回 | フィールドワーク1  | 第20回 | フィールドワーク2        |
| 第 6 回 | フィールドワーク2  | 第21回 | フィールドワーク3        |
| 第 7 回 | フィールドワーク3  | 第22回 | 各自発表：卒論準備進捗状況報告1 |
| 第 8 回 | 発表資料の作成方法1 | 第23回 | 各自発表：卒論準備進捗状況報告2 |
| 第 9 回 | 発表資料の作成方法2 | 第24回 | 各自発表：卒論準備進捗状況報告3 |
| 第10回  | 発表資料の作成方法3 | 第25回 | 各自発表：卒論準備進捗状況報告4 |
| 第11回  | 中間発表1      | 第26回 | 各自発表：卒論準備進捗状況報告5 |
| 第12回  | 中間発表2      | 第27回 | 各自発表：卒論準備進捗状況報告6 |
| 第13回  | 中間発表3      | 第28回 | 各自発表：卒論準備進捗状況報告7 |
| 第14回  | 中間発表4      | 第29回 | 成長点と課題の明確化1      |
| 第15回  | まとめ        | 第30回 | 成長点と課題の明確化2      |
|       |            | 第31回 | まとめ              |

**到達目標**

- ・自分の興味関心があるテーマに関連する文献や資料を収集する力をつける。
- ・文献や資料を繰り返し読み、内容を理解できるようにする。
- ・興味のあるフィールドへ出向き、自分の目で観察し、理解する。
- ・聞き手が分かるようなレジュメ、レポートを作成する力をつけるために、繰り返し行う。

**履修上の注意**

- ・演習は学生主体で行われるものなので、無断欠席は認めない。全出席するという強い意志を持って参加すること。
- ・心理学概論、心理学研究法、心理統計法、心理学実験、教育心理学、発達心理学を履修済み（履修中）であること。
- ・幼稚園、小学校、中学校といった外部機関への見学実習があります。

**予習・復習**

- ・授業、発表準備に時間をかけること。
- ・ネットを活用した調査に加えて図書館、教育・保育フィールドへ実際に出向き、興味関心を深めること。

**評価方法**

出席していることが前提である。遅刻は、3回を1回の欠席と同等に扱う。  
レジュメの内容(40%)、発表質問・意見・感想(40%)などの発言頻度、まとめの内容(20%)として総合的に評価する。

**テキスト**

最初の授業で学生と話し合い、決める予定である。  
その他、参考書については、必要に応じて授業の中で紹介する。

**授業概要**

臨床心理学の研究課題に基づいて卒業研究を行い、卒業論文を作成するために必要な一連の知識、方法論について指導する。具体的には、研究課題の着想・文献検索および先行研究クリティーク・研究課題の決定・研究実施準備の一連のプロセスについて、実践的に学習する。最終的に、実行可能な研究計画案を作成することを目標として指導する。

**授業計画**

|      |  |      |  |
|------|--|------|--|
| 第1回  | ガイダンス（授業の進め方等説明）                           | 第16回 | 研究課題の策定                                      |
| 第2回  | 研究課題の着想（個別発表と議論）                           | 第17回 | ／先行研究クリティークの継続                               |
| 第3回  | 文献検索の方法                                    | 第18回 | （個別発表と議論）                                    |
| 第4回  | 先行研究クリティーク<br>（個別発表と議論）                    | 第19回 | 研究課題の策定                                      |
| 第5回  |  | 第20回 | ／先行研究クリティークの継続②<br>（前回発表時議論を踏まえた<br>個別発表と議論） |
| 第6回  |  | 第21回 |  |
| 第7回  | 先行研究クリティーク②<br>（前回発表後の継続結果について個<br>別発表と議論） | 第22回 | 研究課題の策定                                      |
| 第8回  |  | 第23回 | ／先行研究クリティークの継続③<br>（前回発表時議論を踏まえた<br>個別発表と議論） |
| 第9回  |  | 第24回 |  |
| 第10回 | 先行研究クリティーク③<br>（前回発表後の継続結果について個<br>別発表と議論） | 第25回 | 研究課題の決定                                      |
| 第11回 |  | 第26回 | （個別発表と議論）                                    |
| 第12回 |  | 第27回 |  |
| 第13回 | 先行研究クリティーク④<br>（前回発表後の継続結果について個<br>別発表と議論） | 第28回 | 研究計画の発表                                      |
| 第14回 |  | 第29回 | （個別発表と議論）                                    |
| 第15回 |  | 第30回 |  |

**到達目標**

- ・臨床心理学の研究方法に基づき、研究論文を作成する基礎的な知識と方法論を身につける。
- ・実行可能な研究計画案を作成する。

**履修上の注意**

意欲、自主性を強く求める。授業外の学習を自ら意欲的に進め、疑問点は教員に積極的に質問する姿勢を期待する。

**予習・復習**

授業前には各作業段階に応じた課題学習と発表準備を行い、授業後にも疑問点の復習を必ず行うこと。

**評価方法**

授業への取り組み（意欲、自主性）30%、個別発表時内容40%、研究計画の完成度30%によって評価する。

**テキスト**

使用しない。必要な文献を適宜案内する。

**授業概要**

心理学に関連するテーマ（特に臨床心理学・健康心理学・ポジティブ心理学・カウンセリング分野）で卒業論文を作成しようと考えている学生が対象です。この授業では、卒業論文の作成に必要な技術を学習します。具体的には、春期では関心のある先行研究の要約の発表や追試等、秋期では各自が関心のテーマの発表や構想発表等を行う予定です。

**授業計画**

|        |  |        |   |
|--------|--|--------|---|
| 第 1 回  | ガイダンス（発表順の決定等）                                     | 第 16 回 | 春季のレポートの返却やガイダンス等                                 |
| 第 2 回  | 教員のテーマ紹介とレジュメの作り方                                  | 第 17 回 | 春期に発表した論文の中から一つを選んで、データを収集し、分析を行う。                |
| 第 3 回  | 文献の検索方法  | 第 18 回 |   |
| 第 4 回  |  | 第 19 回 |   |
| 第 5 回  | 各自が関心のある文献の発表<br>（1回に2人の発表と質疑応答）                   | 第 20 回 | 各自のテーマ発表<br>（1回に2人の発表と質疑応答）                       |
| 第 6 回  |  | 第 21 回 |   |
| 第 7 回  |  | 第 22 回 |   |
| 第 8 回  | 前回の発表で指摘された点を改善・発展させた各自の担当文献の発表<br>（1回に2人の発表と質疑応答） | 第 23 回 | 各自の構想発表<br>テーマと関連する先行研究との関係を発表<br>（1回に2人の発表と質疑応答） |
| 第 9 回  |  | 第 24 回 |   |
| 第 10 回 |  | 第 25 回 |   |
| 第 11 回 |  | 第 26 回 |   |
| 第 12 回 | 前回および前々回の発表で指摘された点を改善・発展させた各自の担当                   | 第 27 回 | まとめと卒論への橋渡し                                       |
| 第 13 回 |  | 第 28 回 |   |
| 第 14 回 | 文献の発表  | 第 29 回 |   |
| 第 15 回 | （1回に2人の発表と質疑応答）                                    | 第 30 回 |   |

**到達目標**

心理学の卒業論文を作成するために必要な基礎的な技術を身につけることを目標とします。

**履修上の注意**

- ・心理学研究法Ⅰと心理学研究法Ⅱを履修済みであることが望ましいです。また、心理学の実習系の授業（心理学実験Ⅰ・Ⅱ、フィールドワークⅠ・Ⅱ、社会調査実習Ⅰ・Ⅱ）のいずれか1組を受講しておくことが望ましいです。
- ・発表担当の週に無断欠席をした場合は、評価の対象から除外します。欠席や遅刻の扱いは第1回の授業で行うので、必ず出席してください。

**予習復習**

各ゼミ生の進捗状況に合わせて、次回の発表までに用意しておく資料や準備しておくレジュメ等を指示するので、指示を守ってください。指示を守れない場合、卒業研究の作成に支障を来す場合があるので自覚しておいてください。

**評価方法**

授業への参加態度、発表時のレジュメ、発表の仕方、レポートの内容などを総合的に評価します。

**テキスト**

学生が作成したレジュメを使用するため、テキストは指定しません。

**授業概要**

発達心理学・臨床心理学・教育心理学に関連するテーマについて、各種新聞記事や統計資料の読み取り、書籍・論文等の購読、参加者間のディスカッションを通して、受講生の興味関心を有する分野を多角的に考察し、4年次に履修する「卒業論文又は卒業研究」に向けての基礎的知識と考察を深めることを目的とする。受講にあたっては、ホームワークをはじめ、授業外の取り組みが多く求められる。

**授業計画**

|        |                   |        |                                   |
|--------|-------------------|--------|-----------------------------------|
| 第 1 回  | 【講義】オリエンテーション（春期） | 第 16 回 | 【講義】オリエンテーション（秋期）                 |
| 第 2 回  | 【講義】レポート・論文の書き方   | 第 17 回 |                                   |
| 第 3 回  | 【講義と演習】文献の検索・入手方法 | 第 18 回 | 【発表】春期課題と研究計画の報告                  |
| 第 4 回  | 【講義】文献の読み方        | 第 19 回 |                                   |
| 第 5 回  | 【講義】文献のまとめ方       | 第 20 回 | 【発表】論文購読①<br>総説の購読と報告             |
| 第 6 回  | 【発表】研究テーマを深める     | 第 21 回 |                                   |
| 第 7 回  |                   | 第 22 回 |                                   |
| 第 8 回  | 【発表】新聞記事を読む       | 第 23 回 | 【発表】論文購読②<br>学術誌の購読と報告            |
| 第 9 回  |                   | 第 24 回 |                                   |
| 第 10 回 |                   | 第 25 回 |                                   |
| 第 11 回 | 【発表】統計資料を読む       | 第 26 回 | 【発表】論文購読③<br>研究テーマに関わる<br>論文購読と報告 |
| 第 12 回 |                   | 第 27 回 |                                   |
| 第 13 回 |                   | 第 28 回 |                                   |
| 第 14 回 | 【講義】複数の文献から意見を述べる | 第 29 回 | 【講義】購読文献の統合と論文作成                  |
| 第 15 回 | 【講義】春期のまとめ        | 第 30 回 | 【講義】まとめと 4 年生に向けての課題              |

※授業の進度や学生の興味関心に合わせて変更の可能性がある。

**到達目標**

発達心理学・臨床心理学・教育心理学あるいはその関連領域において卒業論文を作成するために必要な基本的能力（新聞記事や統計資料の読み取りと考察／文献を理解・批判し、まとめる力／プレゼンテーション能力／レポートの作成能力等）を身につけ、論理的思考力・科学的思考力を獲得する。

**履修上の注意**

- ・本科目の履修においては、2年生までに修得すべき必修科目の単位を全て取得していることを前提とする。加えて、「心理学統計法Ⅱ」・「心理学実験」を履修済もしくは履修中であることが望ましい。
- ・無断欠席は厳禁。諸事情で欠席する場合には、必ず授業担当者に連絡を入れること。
- ・グループディスカッションを中心に進めるため、積極的に参加すること。
- ・授業担当者の指導を受けてから学びを始めるのではなく、自らの課題に対して自主的に取り組むこと。
- ・自分以外の受講生の発表であっても、自分自身の研究に活用できるよう、心構えを持って臨むこと。
- ・受講にあたっては基本的なパソコンスキル（タイピング・ワープロソフト及び表計算ソフトの操作）を習得していることが望ましい。
- ・購読文献の検索や取り寄せ等にあたっては、学外へ出向いたり複写費用が必要となることがある。

**予習・復習**

**【予習】**

- ・受講生が興味関心を抱く分野について、書籍等を通じて必ず予習を行った上で授業に臨むこと。
- ・2年次までに学んだ、心理学の研究手法や心理統計に関する基本的な理論・考え方を復習しておくこと。
- ・発表資料を作成するとともに、発表内容そのものに加え、関連領域について不明な語句や事象を調べておくこと。

**【復習】**

- ・講義内の議論を踏まえ、自身が興味関心を抱いた分野や疑問に思った点を整理し、自己学習を深めること。

**評価方法**

課題に対する取り組み状況（ホームワークの提出とその内容／授業内で課される課題への取り組み／授業内のディスカッション等：50%）と期末に提出を求めるレポート（50%）を総合して評価する。なお、課題の提出状況に関わらず、欠席回数が3分の1を超える場合には単位認定を行わない。

**テキスト**

教科書は予め指定しない。受講生の興味関心に応じて購読する書籍等を決定し、授業内で指示する。



**授業概要**

専門演習では、心理学研究および卒業論文の基礎力（論文を読み、理解する力、実験・調査を実施する力）を身につけていくことを目的とします。

春学期は、心理学研究についての基礎を復習し、サンプル論文を読みながら、研究論文を読解する力を養います。後半では、教員が選定した論文から最も関心のある論文を1つ選び、各自その論文についてレジュメを作成し、持ち回りで発表を行ってまいります。

秋学期は、一つの研究テーマについて、調査もしくは実験研究を実施します。研究テーマを選定し、質問紙作成から、データ収集、分析、報告書へのまとめという一連の作業を学生各自が行い、心理学論文の作成について学びます。実際に、調査の計画から実施、分析、論文執筆を体験することで、4年生の演習につなげていきます。

**授業計画**

|        |                |        |              |
|--------|----------------|--------|--------------|
| 第 1 回  | オリエンテーション      | 第 16 回 | テーマの設定       |
| 第 2 回  | 心理学研究の流れ       | 第 17 回 | 研究計画の立案      |
| 第 3 回  | 文献検索           | 第 18 回 | 研究手続きの検討     |
| 第 4 回  | 研究論文の読み方（調査研究） | 第 19 回 | 尺度の検討        |
| 第 5 回  | 研究論文の読み方（実験研究） | 第 20 回 | 質問紙作成        |
| 第 6 回  | 発表担当の振り分け      | 第 21 回 | 調査依頼         |
| 第 7 回  | 論文発表 1         | 第 22 回 | 調査実施         |
| 第 8 回  | 論文発表 2         | 第 23 回 | コーディング、データ入力 |
| 第 9 回  | 論文発表 3         | 第 24 回 | データ分析        |
| 第 10 回 | 論文発表 4         | 第 25 回 | データ分析        |
| 第 11 回 | 論文発表 5         | 第 26 回 | 結果の読み取りと図表作成 |
| 第 12 回 | 論文発表 6         | 第 27 回 | 考察           |
| 第 13 回 | 論文発表 7         | 第 28 回 | 論文執筆         |
| 第 14 回 | 論文発表 8         | 第 29 回 | 論文執筆         |
| 第 15 回 | 春学期のまとめ        | 第 30 回 | 卒業論文に向けて     |
|        |                | 第 31 回 | まとめ          |

**到達目標**

- ・心理学研究の計画実施および卒業論文執筆に必要とされる技能を習得すること
- ・自分自身の興味がある心理学的現象について理解を深めること

**履修上の注意**

- ・心理学の分野の中でも、パーソナリティ心理学、臨床心理学等の領域で卒業論文執筆を希望する方。
- ・積極的・主体的に授業および調査研究に参加する姿勢をもつこと。

**予習・復習**

授業内容の特性上、発表レジュメ作成、質問紙配布、データ分析、報告書執筆等があるため、授業時間外での活動があります。

**評価方法**

授業への参加度、発表などの演習課題（春学期）、報告書の提出（秋学期）の達成度をもとに総合的に判断します。

**テキスト**

特になし。必要があれば、授業内で別途指示します。